

令和4年度事業報告書		事業所名	陽だまりの家	作成者	小原 史吉	作成日	R5.3.31
目標	本年テーマ	(計画)運動機能の維持・向上 (評価)運動機能の維持・向上についてはできました。					
基本処遇及び運営	■令和4年度処遇及び運営方針に対する評価						
	(計画)						
	①ニーズの把握(本人様、ご家族様から困り事、要望の把握。)						
	②サービスの向上(行事やレクリエーションを行う・職員の運動知識の向上)						
	③自立の補助(自分自身で出来ることと出来ない事の認識をし、どのような方法で自分が出来るか検討する。)						
	④習慣化(運動機能を低下させない環境を整備していく)						
	⑤情報の共有と発信(利用者、家族、ケアマネージャー協働しながらの共有)						
	(評価)						
	1年を通じて4回コロナが発生し、行事の制限や中止に追い込まれたこともあった。がユニット内での運動に集中し、機能の維持訓練を目指しました。毎日運動をするという習慣を身に付け、各ユニットリーダーも自分たちで考えた体操を行っています。家族とケアマネにも評価をいただけるようになりました。						
	研修・セミナー	■職員研修計画と実績					
		研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		ユニットリーダー研修	安田綾子	職場でへこたれないメンタルトレーニング	細谷・宮武		
		炎上させないクレーム対応	北野・廣坂	基礎からわかるアセスメント実践研修	川染ゆかり		
		感染予防と気を付けたい感染症の知識	佐藤恵子	倫理・法令遵守の理解100	川染・三上・潮上		
		感染症、食中毒の予防及び拡大防止の理解	感染症対策・身体拘束委員会	報告・指示の仕方受け方	七瀬・西川・内田・岡添・内田		
		身体拘束排除の知識102	感染症対策・身体拘束委員会	アドラー心理学に基づく実践コーチング	潮上由利		
		事故予防及び緊急時対応	事故予防委員会	生活リハビリ3	安田綾子		
		現場の理学療法士が教える転倒予防集中研修	三上直人	ふるフェッショナル！入浴ケアの達人育成	入岡亜矢		
		虐待に関する理解	感染症対策・身体拘束委員会	食中毒の予防と蔓延防止	感染症対策・身体拘束委員会		
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果		
		陽だまり会議	全体的な話し合いができた	事故予防対策委員会	事故対策はするがあまり効果はなかったように思う		
		ユニット会議	マイナス面ばかりが強調されている。前向きな発言がほしい	感染症対策・身体拘束委員会	感染症対策に対しては、ちっしきが深まった。身体拘束はアンケート実施		
		行事担当会議	行事関係は問題なし	給食委員会	日清とは良好な関係を築けている		
		業務改善委員会	役割をリーダー会議に移行しました	リーダー会議	各ユニットの問題を他部署の問題を話している。		

■災害訓練計画・実績				
防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	R4.6	R4.5	火災訓練	日中想定、やすらぎの家と合同参加
	R4.11	R4.11	震災訓練	夜間想定、停電も想定、発電機を作動させる。

■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)	
月 度	
4 月	屋外歩行訓練(花見会)中止
5 月	感染症、食中毒の予防及び拡大防止の知識 BBQ・節句会
6 月	異常の早期発見のための観察の視点 陽だまりカフェ・運動会
7 月	異常の早期発見のための観察の視点 ミニ夏祭り・居酒屋
8 月	感じの良い挨拶 夕涼み会(花火)・陽だまりカフェ
9 月	摂食嚥下の基本・食中毒の基礎知識・虐待防止に関する理解 敬老祝賀会
10月	クレームトラブルの対応 秋祭り(慰問)・屋外歩行訓練(日帰り)
11月	褥瘡発生メカニズムとずれについて・不適切ケアと褥瘡 秋の食事会(さんま)
12月	信頼関係の構築 居酒屋・クリスマス会
1 月	標準感染予防策 新年会
2 月	対人トラブルの心理学 節分会・握りずし
3 月	対人トラブルの心理学 ひな祭り会

(総評)コロナの影響により、外部からの慰問は難しかったため、委託業者の日清の協力により、行事を進めた。ピザ焼きや、大判焼き、握りずしなどもあり、イベントを盛り上げて頂きました。味についても当初は不安定になっていましたが、料理人の変更により、安定してきました。研修については、WEBでの研修となり、日時を問わず、勉強することができました。R4年度は4回コロナが発生しました。稼働率は88%～99%との間で推移していました。平均は95%となりました。3月にはロングの入院と、入所が重なってしまい、稼働率が低下してしまいました。5月にコロナの影響で88%となりました。他の月はおおむね95%～97%で収まっていました。運動については、一年を通じてすることができ、成果が出てきたと思います。ケアマネや家族様からもある程度の評価を得ることができました。ただ、新規の利用者様の家族様からは、ショートステイは何もしてくれないといわれることもしばしばありました。今年一年の目標は、運動を通じて、本人に機能の維持向上は達成できたと思います。